

第1学年〇組 国語科学習指導案

令和3年〇月〇日 〇曜日 第〇時

指導者 〇 〇 〇 〇

1 単 元 1 学びをひらく（情報を整理して書こう わかりやすく説明する）

2 単元の目標

- (1) 相手に理解してもらうために、言葉遣いや語句の選び方、表現方法を工夫することができる。
- (2) 身近な生活の中から説明したい事柄を決め、観点を立てて情報を整理して、考えをまとめることができる。
- (3) 目的や相手を明確にした上で、観点を立てて情報を集めたり、分類したりしながら、分かりやすく伝わる文章を書こうとする。

3 学習の計画（4時間完了）

- 第1時（本時） 学習の目標を理解し、説明する事柄を決める。
- 第2時 観点を立てて情報を集め、目的や相手に応じて必要な情報を取捨選択する。
- 第3時 文章の構成を考え、分かりやすい表現で工夫して書く。
- 第4時 書いた文章を読み合い、感想を伝え合うとともに、観点を立てて情報を捉えることの大切さを理解する。

4 本時の学習指導

- (1) 目 標
 - 分かりやすく説明するために、必要な情報を集めることの大切さを知ることができる。
 - 目的や相手に応じた情報を積極的に集め、まとめようとする。
- (2) 準備・資料
 - 生徒……知多の友
 - 教師……教師の宝物（生徒の興味をひくもの）、掲示用カード（画用紙を切ったもの）
- (3) 関 連
 - 2年 国語 広がる学びへ「多様な方法で情報を集めよう」（多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にする）
 - 3年 国語 深まる学びへ「文章の種類を選んで書こう」（集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にする）

(4) 学習過程

段階	学 習 活 動	時間	指 導 上 の 留 意 事 項
つかむ	1 さまざまな場面の例から、分かりやすく物事を伝えることの大切さを感じ、本時の学習課題を知る。	5	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「目標」「学習の見通し」(p. 34～p. 35)を読み、理解させる。 ○ 目的や相手によって、伝える情報が変わること伝える。
	2 本時の学習課題をつかむ。 (1) 本時の学習課題に関心をもつ。 (2) 本時の学習課題を知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 自分が説明する題材と目的・相手を決めよう。 </div>		
追究する	3 教師の「宝物」についての情報を集め、話し合いを行う。 (1) 「宝物」について教師の話聞く。 (2) 教師の「宝物」を家族に紹介するために必要な情報を集める。 ・色や形状 ・使い方や特性 ・入手方法や思い出 (3) 「宝物」を紹介するのに必要な情報を班で話し合い、掲示用カードにまとめ、黒板に貼る。		<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習課題カードを黒板に掲示する。 ○ 自分が興味をもっていることや、友達に知らせたいこと以外にも、「発想を広げる」(p. 72)を参考にテーマを決めさせてもよい。 ○ 教師の「宝物」を家族に紹介するという状況設定で考えさせる。 ○ 「宝物」の具体的な説明や思い出について話し、興味をもたせる。 ○ 班での話し合いに向けて、個別に意見を考えさせる。 ○ 思いつかない生徒には「色」や「形」等の観点到に注目させる。 ○ 伝える相手や目的を意識させて、班で話し合いを行い、必要だと思う情報を四つにまとめさせる。

追 究 す る ま と め る	<ul style="list-style-type: none">・どのような色や形状か・どのように使うものか・どのように手に入れたか・「宝物」にまつわる思い出 <p>(4) 情報のまとまりごとに、どのような観点なのかを考える。</p>		評必要な情報を積極的に集め、掲示用カードにまとめようとしている。 (話し合いの様子、掲示用カード)
	4 目的や相手を変えることで、必要な情報がどのように変わるのかを考える。 (1) 紛失した「宝物」を探してもらうときに必要な情報を集める。 (2) 紹介する場合と探してもらう場合の情報の違いに注目して、「伝える」上で大切なことをまとめる。 <ul style="list-style-type: none">・伝える目的や相手を明確にすること・目的や相手に沿った情報を集めること	25	○ 黒板に貼ったカードを、観点別に教師が分類する。 ○ 教師が分類した情報に、「形状」「思い出」などの観点名を付けさせる。 ○ 目的や相手によって情報が変わることを実感させるため、「紛失した宝物を級友に探してもらう」という状況設定で、情報を集めさせる。 ○ 出された意見を板書し、カードに書かれた情報と比較できるようにする。 ○ 目的や相手によって、集める情報が変わること気付かせる。
	5 題材・目的・相手を考え、説明する題材を決める。 (1) 候補として挙げた中から、題材を一つに決める。 (2) 知多の友 (p. 4) に記入する。	40	評必要な情報を集めることで、分かりやすく説明できることに気付いている。 (発表、知多の友)
	6 本時を振り返り、次時の予告を聞く。 (1) 本時の振り返りをする。 (2) 次時の内容について知る。	47	○ 「宝物」で学んだことを生かし、自分が伝えたい題材をいくつか挙げさせる。 ○ 題材を一つに決めさせる。 ○ 目的や相手を明確にさせる。
		50	○ 振り返りカードに、本時の振り返りを記入させる。 ○ 次時は、情報を集め、整理することを伝える。

(5) 本時の評価規準

- 分かりやすい説明をするために、目的や相手に沿った情報が大切であることに気付いている。
(発表、知多の友)
- 分かりやすく書くために必要な情報を、積極的に集め、まとめようとしている。
(話し合いの様子、掲示用カード)

5 備 考

(1) 学級の実態

- 本学級には、作文を書く際に、なかなか取りかかれなかったり、途中で手が止まってしまったりするなど、「書くこと」に苦手意識をもっている生徒がいる。そこで目的を明確にし、伝える相手を意識して文章を書くことで、分かりやすく伝わる文章になることを実感させたい。そして、作文を書く目的意識や相手意識の大切さを感じさせたいと思い、本授業を設定した。

(2) 指導の力点

- 「宝物」に関する情報はカード、「宝物の搜索」に関する情報はチョークというように、目的によって必要になる情報が変わることが、一目で分かるように板書を行うことで、教師の話やグループ活動での級友の意見だけでなく、視覚的にも目的の大切さを理解できるようにする。

6 指導と評価